

令和元年度(2019年度)

環境活動レポート

エコアクション21

(活動期間 平成31年4月～令和2年3月)

有限会社 プライムクリエイト

作成日 令和2年6月29日

改訂日 令和2年11月20日

組織の概要

事業所名	有限会社 プライムクリエイト		
代表者名	代表取締役 大木 清実		
所在地	茨城県水戸市大塚町247-1		
連絡先	Tel 029-255-3335	Fax 029-254-6080	
	URL http://www.primecreate.com	E-mail info@primecreate.com	
事業内容	廃棄物の収集運搬業務		
設立年月日	平成3年11月19日		
資本金	1,300万円		
売上高	318.6 百万円 (決算日変更のため 令和元年5月～10月)		
従業員数	20 人		
延床面積	329平方メートル(事務所 162平方メートル)		
駐車場面積	1,535平方メートル		
保有運搬車両	18台		
	2tパネル車	1台	2tクレーン車 1台
	3tパッカー車	1台	3tクレーン車 2台
	4tパッカー車	1台	4t平ボディ車 1台
	4tアームロール車	5台	3tクラム車 1台
	10tアームロール車	3台	6tクラム車 1台
	10tダンプ車	1台	

保有許可

【産業廃棄物収集運搬業】

都道府県 市町村	許可年月日 有効年月日	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	鉍さい	がれき類	ばいじん
茨城県 平成26年12月8日 平成31年11月10日	00801025295 令和元年11月18日 令和6年11月10日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
栃木県 平成26年8月27日 平成31年8月26日	0900025295 令和元年8月27日 令和6年8月26日	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
千葉県 平成26年12月17日 平成31年11月24日	01200025295 令和元年12月16日 令和6年11月24日		○	○			○	○	○	○	○		○	○			
埼玉県 平成29年2月15日 平成34年1月9日	01107025295 平成29年2月15日 平成34年1月9日	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	
福島県 平成30年8月30日 平成35年8月5日	00707025295 平成30年8月30日 平成35年8月5日	○	○				○	○	○	○			○	○		○	
宮城県 平成30年8月8日 平成35年8月7日	00400025295 平成30年8月8日 平成35年8月7日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
東京都 令和元年12月20日 令和6年12月19日	13-00-025295 令和元年12月20日 令和6年12月19日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【特別管理産業廃棄物収集運搬業】

都道府県	許可番号 許可年月日 有効年月日	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性産業廃棄物	廃石綿等
茨城県 ※申請書提出日 令和2年9月23日	00851025295 平成27年12月25日 平成32年11月9日	○	○	○	○	○
栃木県 平成25年11月14日 平成30年11月13日	00950025295 平成30年11月14日 平成35年11月13日	○	○	○		
宮城県 平成30年8月8日 平成35年8月7日	00450025295 平成30年8月8日 平成35年8月7日	○	○	○		

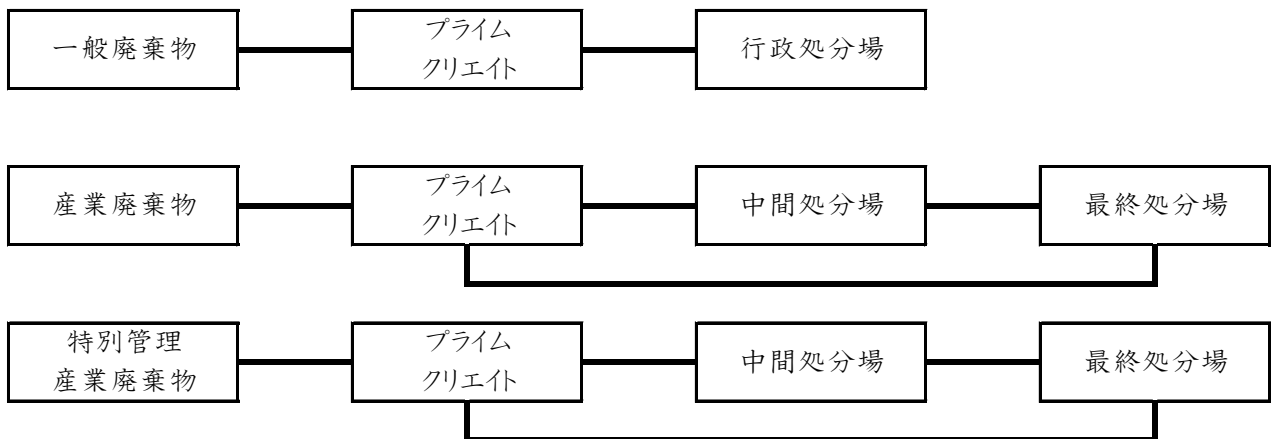
【一般廃棄物収集運搬業】

市町村	許可の年月日	許可の有効年月日	許可番号
水戸市	平成30年4月1日	平成32年3月31日	指令第136号
	令和2年4月1日	令和4年3月31日	指令第118-35号
常陸大宮市	平成30年3月25日	平成32年3月23日	指令第17号
	令和2年3月25日	令和4年3月24日	指令第12号
那珂市	平成30年3月25日	平成32年3月23日	指令第180号
	令和2年3月25日	令和4年3月24日	指令第135号

事業計画の概要

一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬業務において、事業者の分別排出の協力を得て、再資源化のために可能な限りの分別回収・運搬に努めます。

廃棄物の流れ



受託した一般廃棄物処理量

平成31年4月～令和2年3月 総処理量	467.7 t
那珂市・常陸大宮市	125.7 t
水戸市	342.0 t

受託した産業廃棄物処理量

平成31年4月～令和2年3月 総処理量	12,667.0 t
木くず	2,341.6 t
廃プラスチック	1,467.2 t
がれき類	1,048.0 t
ガラス・コンクリートくず及び陶磁器くず	3,300.0 t
混合廃棄物	3,465.3 t
その他の産業廃棄物	1,044.9 t

受託した特別管理産業廃棄物処理量

特別管理産業廃棄物	92.0 t
感染性	52.4 t
廃油	39.6 t

対象範囲(認証・登録範囲)

有限会社 プライムクリエイト

茨城県水戸市大塚町247-1

廃棄物の収運にかかわる業務の全組織・全活動を対象

レポートの対象期間

期間 平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日

レポートの作成日

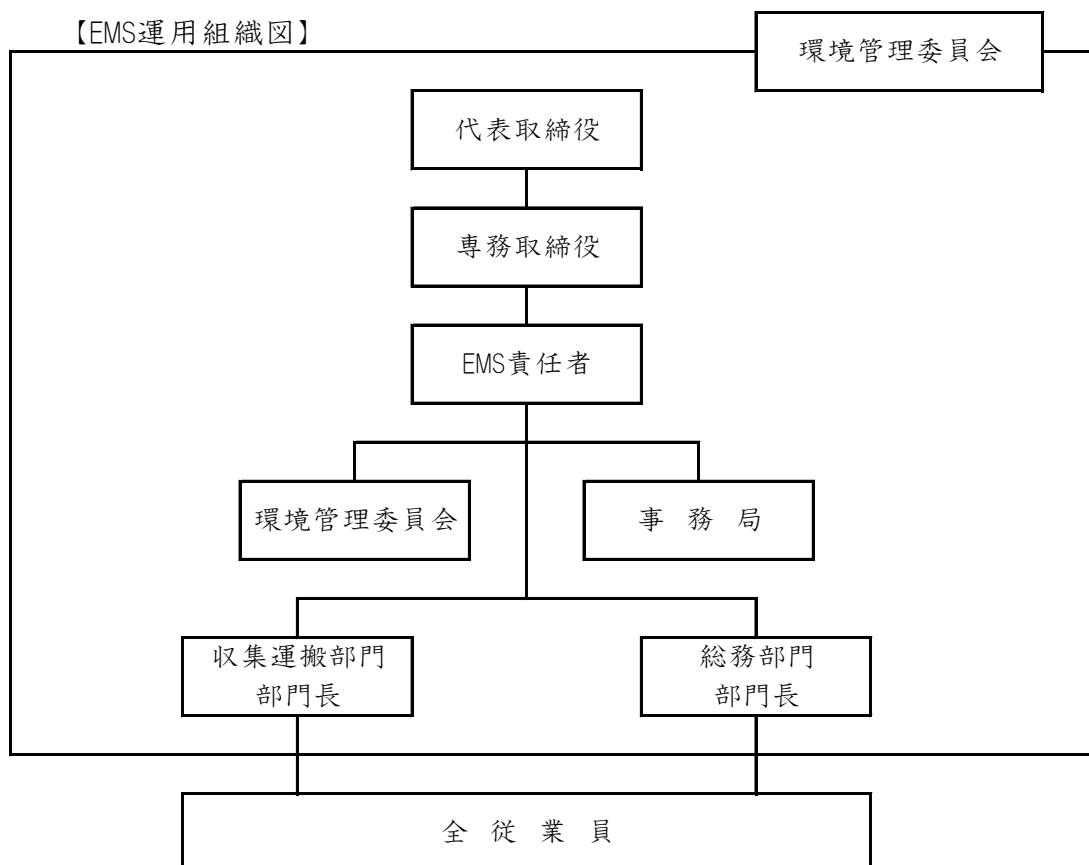
令和2年6月29日

環境保全関係の責任者及び担当者

EMS責任者 助川 健

事務局 新原 晋

EMS実施体制



環境方針

基本理念

有限会社プライムクリエイトは、廃棄物の収集運搬業務を行うにあたり循環型社会システムの構築に貢献することを目的とし、環境への負荷を削減し地球環境の保全に積極的に取り組むために以下の方針を定め、実施し、維持します。

基本方針

1. 環境関連法規等を遵守し、環境汚染の防止に努めます。
2. 環境負荷の削減のため以下の活動に積極的に取り組みます。

温室効果ガス排出量の削減

廃棄物発生量の削減

排水量の削減

産業廃棄物排出事業者への分別排出の推進

3. 全従業員对环境に対する意識の向上を図るため環境教育を実施します。
4. 環境マネジメントシステムの維持向上のため継続的な改善に努めます。
5. 環境方針は全従業員に周知徹底し、一般の人々にも開示します。

平成31年4月1日 改定

有限会社 プライムクリエイト

代表取締役 大木 清実

環境目標

目標項目		基準値(H29年度実績)	H30年度目標	R1(H31)年度目標	R2年度目標
二酸化炭素排出量削減		395,674kg-CO2	395,719	395,884	423,863
			100.01%	100.05%	※10
軽油 H29年度実績	大型 車両	燃費 3.88km/ℓ	3.89km/ℓ	3.89km/ℓ	3.80km/ℓ
	中型 車両	燃費 6.59km/ℓ	6.60km/ℓ	6.60km/ℓ	6.45km/ℓ
ガソリン目標			6,000.0 ℓ	5,990.0 ℓ	5,980.0 ℓ
+ 灯油目標			※1	-10.0 ℓ	-20.0 ℓ
+ 電気目標			180.0 ℓ	180.0 ℓ	180.0 ℓ
		維持管理	100.0%	100.0%	100.0%
ガソリン		5,970.0 ℓ	6,000.0 ℓ	5,990.0 ℓ	5,980.0 ℓ
灯油		180.0 ℓ	180.0 ℓ	180.0 ℓ	180.0 ℓ
電気		18,150.3 kWh	18,124.0 kWh	18,500.0 kWh	18,475.0 kWh
			※2	※6	-25.0 kWh
社内廃棄物(可燃物) 排出量の削減		142.5 kg	141.5 kg	180.0 kg	174.0 kg
			-1.0 kg	※7	※8
排水量の削減 (水道使用量)		339.2 m ³	456.0 m ³	432.0 m ³	420.0 m ³
			※3	※8	※8
受託した産業廃棄物の 混合廃棄物割合の削減		27.7%	29.0%	29.0%	29.0%
			※4	※5	※5

※1 ガソリンの30年度目標については、営業拡大によるガソリン使用量の増加を見込み、新たに目標(6,000ℓ)を設定する。

※2 電気使用量の30年度目標については、29年度目標(18,124kWh)が未達成のため、引続き同じ値を使用する。

※3 原則、稼働車両は洗車対象とするため、新たに目標値(456m³)を設定する。

※4 混廃割合の増加が予想されるため、新たに目標値(29.0%)を設定する。

※5 目標未達成のため、前年度目標を継続する。

※6 電力機器の増加により現状での目標達成が難しいと判断し、新たに目標(18,500kWh)を設定する。

※7 社内廃棄物増加のため、新たに目標(15kg/月・180kg/年)を設定する。

※8 目標と実績の差があったため、目標を修正する。

※9 軽油車両稼働増により燃費目標達成が難しいと判断し、新たに目標を設定する。

(H30年度・R1年度の平均≒大型3.80km/ℓ・中型6.45km/ℓ)

※10 ※7同様軽油車両稼働増のため軽油の二酸化炭素排出量目標を基準年29年度実績から、H30年度・R1年度の平均使用量=152,531ℓに変更し、他の目標との合計(423,863kg-CO2)とする。

受託した産業廃棄物の混合廃棄物割合 混廃量÷産廃量=混廃割合(%)

この目標での産廃量とは (紙くず・木くず・廃プラスチック・がれき類・金属くず・ガラスくずコンクリートくず及び陶磁器くず・コンクリートがら)+(混廃) としています。

環境活動計画

- 二酸化炭素排出量の削減
 - 軽油 - 効率の良いルート選択による走行距離の短縮
 - ガソリン - 無駄なアイドリングを行わない
 - 灯油 - ストープ使用時の扇風機の使用(空気循環)
 - 電気 - エアコンの設定温度の徹底
- 社内廃棄物排出量の削減
 - 使用済み用紙の資源排出
- 排水量(水道使用量)の削減
 - 効率の良い洗車
- 受託した産業廃棄物の混合廃棄物割合の削減
 - 排出事業者への分別排出の勧め

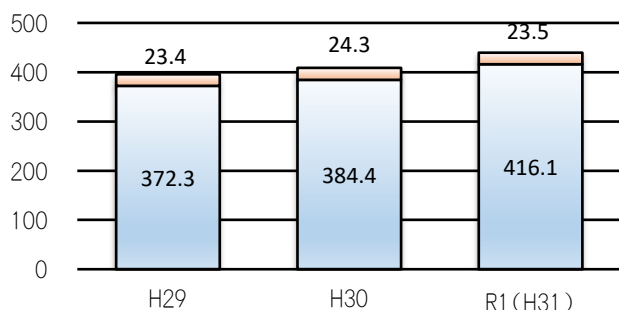
環境目標の実績

1) 二酸化炭素排出量の削減

	H29年度実績	H30年度実績	R1(H31)年度実績	R2年度実績
二酸化炭素(kg-CO2)	395,674	408,766	439,598	
前年度実績比	94.0%	103.3%	107.5%	
軽油 kg-CO2 = 0 × 2.62434	141,856 0	146,490 0	158,572 0	
	372,278	384,440	416,147	
ガソリン kg-CO2 = 0 × 2.32166	5,975 0	6,139 0	5,954 0	
	13,872	14,253	13,823	
灯油 kg-CO2 = 0 × 2.49193	180 0	196 0	180 0	
	449	488	449	
電気 排出係数	18,150 kWh	19,171 kWh	18,359 kWh	
	0.500	0.500	0.500	
kg-CO2 = kWh × 係数	9,075	9,585	9,179	

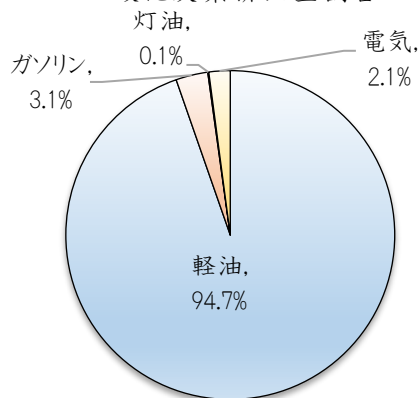
	H29年度実績	H30年度実績	R1(H31)年度実績	R2年度実績
大型車両燃費	3.88km/0	3.83km/0	3.78km/0	
中型車両燃費	6.63km/0	6.51km/0	6.39km/0	
全車両燃費	5.37km/0	5.28km/0	5.25km/0	

二酸化炭素排出量(t-CO2)



■軽油 ■軽油以外

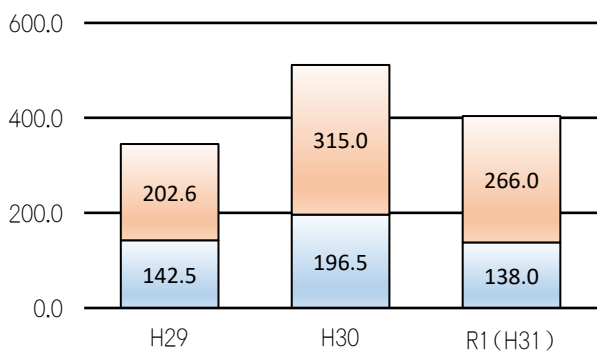
二酸化炭素排出量割合



2) 社内廃棄物排出量の削減

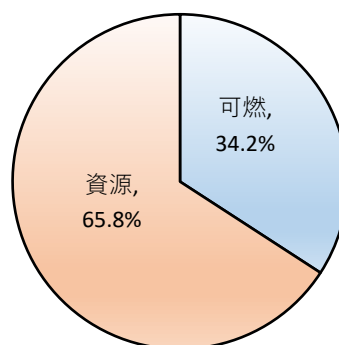
	H29年度実績	H30年度実績	R1(H31)年度実績	R2年度実績
可燃物排出量	142.5kg	196.5kg	138.0kg	
前年度比	92.5%	137.9%	70.2%	
資源物排出量	202.6kg	315.0kg	266.0kg	
前年度比	69.6%	155.5%	84.4%	
社内廃棄物合計	345.1kg	511.5kg	404.0kg	
前年度比	77.6%	148.2%	79.0%	

社内廃棄物排出量(kg)



□可燃 □資源

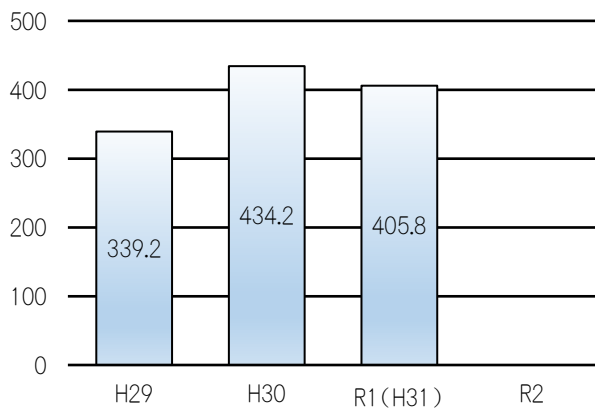
社内廃棄物排出量割合



3) 排水量(水道使用量)の削減

	H29年度実績	H30年度実績	R1(H31)年度実績	R2年度実績
水道使用量	339.2 m ³	434.2 m ³	405.8 m ³	
前年度実績比	100.2%	128.0%	93.5%	

排水量＝使用量(m³)

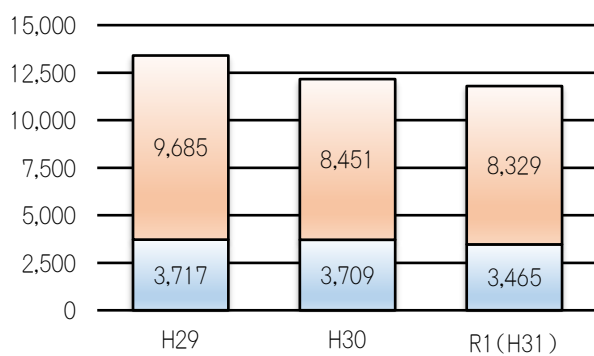


4) 受託した産業廃棄物の混合廃棄物割合の削減

	H29年度実績	H30年度実績	R1(H31)年度実績	R2年度実績
混廃割合 (混廃量÷産廃量)	27.7%	30.5%	29.4%	
産廃量	13,401.8 t	12,160.2 t	11,794.1 t	
前年度実績比	89.4%	90.7%	97.0%	
混廃量	3,717.1 t	3,709.2 t	3,465.3 t	
前年度実績比	94.4%	99.8%	93.4%	

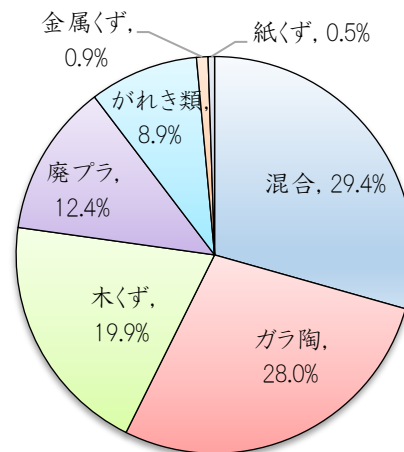
※産廃量＝(紙くず・木くず・廃プラスチック・がれき類・金属くず・ガラ陶)+(混廃)

産業廃棄物(混廃)運搬量(t)



□混廃量 □その他

産業廃棄物運搬割合



環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

1)二酸化炭素排出量の削減	目標 395,883.7kg-CO2	実績 439,597.6kg-CO2	達成率 90.1%	×
---------------	-----------------------	-----------------------	--------------	---

※ 達成率 = 目標 ÷ 実績

環境活動計画	結果	評価	来年度の取組
軽油 効率の良いルート選択による走行距離の短縮	行われませんでした。	×	過度な走行時のスピードアップ・作業時のアイドルアップを行わず、使用量の削減に努めます。
ガソリン 無駄なアイドリングを行わない	行われました。	○	効率の良いルートを選択し、使用量の削減に努めます。
灯油 ストーブ使用時の扇風機の使用 (空気循環)	行われました。	○	活動継続。使用量の維持、削減に努めます。
電気 エアコンの設定温度の徹底	行われました。	○	活動継続。エアコンの設定温度を徹底し、使用量の削減に努めます。

軽油は通常業務と水害の廃棄物収運を行ったため、稼働が多く燃費低下となってしまいました。

(水害＝廃棄物置場での機械車による積み込み作業・置場場内での廃棄物移動・近距離でのピストン運搬)
ガソリン・灯油・電気は、前年度実績より削減することができました。

2)社内廃棄物(可燃物)排出量の削減	目標 180.0 kg	実績 138.0 kg	達成率 130.4%	○
--------------------	----------------	----------------	---------------	---

※ 達成率 = 目標 ÷ 実績

環境活動計画	結果	評価	来年度の取組
使用済み用紙の資源排出	行われました。	○	活動継続。使用済み用紙の資源化を強化し、可燃物排出量の削減に努めます。

前年度実績より削減。資源物の割合も65%を超えています。

前年度実績から今年度目標を変更しましたが、目標と実績の差が大きく新たな目標を設定したいと思います。

3)排水量(水道使用量)の削減	目標 432.0 m ³	実績 405.8 m ³	達成率 107.2%	○
-----------------	----------------------------	----------------------------	---------------	---

※ 達成率 = 目標 ÷ 実績

環境活動計画	結果	評価	来年度の取組
効率の良い洗車	行われました。	○	活動継続。来年度も効率良く洗車を行い、排水量削減に努めます。

前年度実績より削減。

前期の大型車両の稼働が少なく、洗車回数が少なかったための結果だと思えます。

環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

4)受託した産業廃棄物の収集運搬量 混廃物の割合	目標 29.0%	実績 29.4%	達成率 98.6%	×
-----------------------------	-------------	-------------	--------------	---

※ 達成率 = 目標 ÷ 実績

環境活動計画	結果	評価	来年度の取組
排出事業者への分別排出の勧め	行われました。	○	来年度も引き続き排出事業者への分別排出推進を行っていきます。
目標は達成できませんでしたが、前年度と比べると混廃割合は減っています。			

環境関連法規等の遵守状況

廃棄物処理業関連法規等の名称 (一般廃棄物・産業廃棄物・特別管理産業廃棄物)	遵守事項	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	許可申請・更新	○
	適正処理	○
	帳簿の記載・保存	○
	名義貸し禁止	○
	委託禁止	○
	管理票の携帯・送付・保存	○
茨城県廃棄物の処理の適正化に関する条例	事業報告書作成・提出	○
茨城県廃棄物処理要項	産業廃棄物収運搬車両の表示・許可証の備付	○
水戸市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例	一般廃棄物処理業許可関連	○
水戸市小吹清掃工場条例	使用許可	○
那珂市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	一般廃棄物処理業許可関連	○
常陸大宮市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	一般廃棄物処理業許可関連	○
千葉県県外産業廃棄物の適正処理に関する指導要綱	県外産業廃棄物の県内処分の事前協議関連	○
埼玉県県外産業廃棄物の適正処理に関する指導要綱		○
埼玉県県外産業廃棄物事前協議制度		○
栃木県県外産業廃棄物の最終処分に関する指導要綱		○
福島県産業廃棄物等の処理の適正化に関する条例		○
非飛散性アスベスト廃棄物の適正処理 石綿含有廃棄物等処理マニュアル(第2版)	非飛散性アスベスト廃棄物に含まれるアスベストの飛散防止	○

環境関連法規等の遵守状況

環境関連法規等の名称	遵守事項	遵守状況
エネルギーの使用の合理化に関する法律	消費性能等が優れている車両の使用・合理的な運転又は操縦	○
水質汚濁防止法	汚水又は廃液による公共用水域又は地下水の水質の汚濁の防止	○
浄化槽法	保守点検・清掃	○
茨城県浄化槽指導要綱		
自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法	排出の抑制のために必要な措置を講ずる	○
消防法	移動タンク貯蔵所(タンクローリー)の許可・危険物取扱者・定期点検	○
水戸市危険物規制規則		
道路交通法	道路における危険を防止・運転免許証の更新	○
道路運送車両法	点検整備・自動車検査証の交付	○

違反、訴訟等の有無

環境関連法規の違反・指導等はありませんでした。
訴訟に関しても同様ありませんでした。

代表者による全体評価と見直しの結果

評価

軽油に関しては、10月以降水害の廃棄物の収運と通常業務で車両の稼働が増えました。当然軽油使用量増＝二酸化炭素排出量増となってしまいました。時間に追われることも多く、燃費低下にもつながってしまいました。結果だけを見ると評価することはできませんが、このような状況でしたので単純に『×』とすることもできません。来年度に期待したいのですが、水害の収運はまだ続いています。終わりが見えません。燃費の向上は難しいかもしれませんが、維持ができるよう活動していきたいと思います。混合廃棄物の割合も目標達成できませんでしたが、前年度の割合より少なくなっています。活動を行ってきた成果は出てきていると思います。上記以外の取り組みは、目標及び前年度実績より削減できました。

見直し結果

「活動＝目標達成」―「燃費向上」は活動を敢行することができませんでした。
―「混廃率」は目標未達成でしたが、成果は出てきています。
「過去の活動も継続的に」―「燃費向上」以外は行われました。
「状況変化に対応」―水害による状況変化に対応できませんでした(燃費向上)。